



今年度から算定している「地域医療体制確保加算」「夜間看護補助体制加算」産婦人科入院再開等により診療単価が上昇している。

12月末累計：58,380円 (対前年+4,026円)

コロナ関連患者の受入れにより4~6月は落ち込むも、診療単価の増等により10月~11月は対前年プラス、12月も同水準を確保した。

12月末累計：69.2億円 (対前年▲2.1億円)

高額薬剤の増や血液内科による輸血件数の増により薬剤費が増加傾向にあるのが主な要因。12月は賞与の支給により増となる。

12月末累計：75.3億円 (対前年+2.5億円)

年度当初はコロナの影響が大きく対前年から減少傾向。コロナが一段落した8~10月は前年実績を上回っている。

12月末累計：1,197件 (対前年▲118件)

年度当初の減少傾向は手術件数と同様だが、全身麻酔の方が比較的減少幅が小さい。

12月末累計：848件 (対前年▲38件)

コロナ禍で搬送件数は減少しているものの地域医療体制確保加算の要件である1月~12月実績2000件の要件は既に満たしている。

12月末累計：1,587件 (対前年▲189件)

